

## 「地球市民宣言と環境」

サラヤ株式会社  
代表取締役社長 更家 悠介



ルアンダのマウンテンゴリラ保護  
NPO法人 ゴリラの鼻歌（設立2020年2月）  
理事長 森啓子

最初にこの写真を用意してきました。ルアンダでゴリラの保護活動をされている森啓子さんです。山極先生にもご指導いただき、NPOの理事長をされておられます。当社も応援しています。ルアンダでゴリラと一緒に暮らしておられ、日本もこういう方々を旗印にして頑張っていければと思います。



先ほど森井さんからボルネオでの活動のお話がありました。当社も2004年ぐらいからこの運動に関わっており、森井さんと一緒に活動をしています。

### 資本主義と民主主義？

いまドイツで革命を狙ったテロが起きかけたり、アメリカではトランプ元首相が出てきて混乱を起こしたり、各地で民主主義が揺らいでいます。資本主義についても、時代的にこれをどう考えるかというのは、一つ環境とも大きく影響するのです。私が考えているところを、ご紹介します。

アダム・スミスが『国富論』を出し、その頃から資本主義が理論化されていきました。資本主義には宗教が関係しています。キリスト教やイスラム教は利子を取ってはいけないとされています。ただしユダヤ教は、異教徒からは利子を取ってもよく、昔は街にお金を扱う仕事に就くユダヤ人が多くいました。お金を扱う人は嫌われていましたので、ユダヤ人のゲットーやコミュニティで行われていました。

しかし、アダム・スミスは、「人は自己の利益のために最大級の努力と研究をする」とし、「それが最終的に神の見えざる手（invisible hand）に導かれていつの間にか社会の利益に貢献している」と言っています。お金はタンスにしまわず、社会のために使いなさいということをパブリックアナウンスしたのです。それを一つの拠り所にして、お金を資本として活用し始めます。これが資本主義の原点で、産業革命に繋がります。

時代を遡りますが、東インド会社というものが作られます。当時各国は東インド会社をたくさん作って、アジアやアメリカ、南アメリカへ資本を集め、それを活用して植民地を運営していきます。証券取引所も設立され、こういうところでお金を集めて、東インド会社を通して植民地経営へ運用されます。

しかし、そこには非常に暴力的なところがあります。奴隷貿易と言われるものは、アフリカで対立する部族の片方へ鉄砲を貸し与え、集められた別の部族を檻に入れてヨーロッパの奴隷市場へ売りました。奴隷に人格はなく、同じ人間が物として扱われました。

カール・マルクスは『資本論』を書きました。資本家は労働者から搾取しているので、労働者は団結して資本家に対抗し、さらには革命を起こして、労働者の社会、社会主義、共産主義の社会を作っていくという理論です。これを実践したのがレーニンで1917年ロシア革命を起こしました。その後スターリンが出てきて、現在のプーチンに繋がっているところがあります。中国は共産党が指導する社会で、共産党が大衆を指導する

体制を取るのが共産主義です。

1929年にニューヨークの証券取引所が大暴落し、アメリカが大不況となります。そこで、国が金を使って消費を作りだすべきだということを読み取ったのが、ケインズです。現在の日本と少し状況が似ています。しかし、ケインズ政策は失敗し、特に日本は大不況の影響を受け、新しい消費先や新天地を求めて中国東北部の満州へ侵出しました。中国との争いになり、アメリカが中国を支援して太平洋戦争が起こり日本は滅びました。資本の体制と経済は非常に密接であり、「愚者は自分に学び、賢者は歴史に学ぶ」というビスマルクの言葉がありますが、われわれもそういう過去があったという知識は大事だと思います。

鄧小平さんは、資本主義でも共産主義でも生産して付加価値を出すのはいいことだと言い、一部私有制を認めました。最初はみんな疑っていましたが次第に本気になり、直近30年で社会がとてつもなく発展しました。これが習近平さんによってどうなるか、これから少し注意しながら見ないといけません。

## 地球市民の時代

**持続可能な地球を残すことができるのか？**  
SDGsとビジネスによる挑戦



1. 資源の持続可能性
2. 生物多様性の喪失
3. 地球温暖化の進行
4. プラスチック海洋汚染
5. パンデミックの発生
6. 貧富の拡大と社会的軋轢

これらグローバルな問題について、ビジネスの新しいチャレンジが必要である。  
【イノベーションの実現】

19

しかしお金の理論で全て解決するのはなかなか困難です。新しい考え方の中で実現しなければならないニーズが出てきています。お金のことばかり追求していたら、根っこが腐って木が倒れてしまうように、資源や生物多様性、温暖化、プラスチック、パンデミック、貧富の拡大などの社会的な不安を生みます。

これらを各国だけで解決することはできません。地球の人口は80億人になっており、新しい理論や新しい考え方、経済の体制も含めて考えていかなければいけません。大きな経済体制が出来上がるのを待っていると、問題が進んでいくスピードがとてつもなく速いので、手遅れになってしまいます。われわれはやはり体制も含めて考えながら、知恵を集めて、子どもたちへいい地球を残さないといけなというニーズがあります。

## プラスチック海洋汚染と対馬プロジェクト



これはポリマ号といいます。友人のグンター・パウリがスイスのポリマ財団でこの船を持っています。ポリマというのはローマ神話の出産や未来の女神で、この船の名前にしています。

これは、太陽光、風力、水素エネルギーを使った完全自走型の船です。石油は一切使いません。エネルギーなしで地球を回っています。



2021年10月に大阪・関西万博のスペシャルサポーターに任命してもらい、3月までドバイ万博に行ってPRしてきました。ポリマ号は単に遊びで回っているわけではありません。プラスチック海洋汚染について、海の上から世界の調査をしながら、警鐘を鳴らすということがミッションです。



2017年にコロンビアのサントドミンゴに行っています。皆さん貧しいので、川にごみを捨てます。埋め立てせずに、ごみを集めて、広場に置いて、そこで貧しい人はごみからいろいろな

ものを取り上げています。しかし、最終的に雨が降ってくるとごみは川に流れていくので、そこに豚が餌を求めて来ています。



カリブ海はきれいな海のイメージがありますが、これだけごみを流しています。このままではかなり汚れてしまいます。

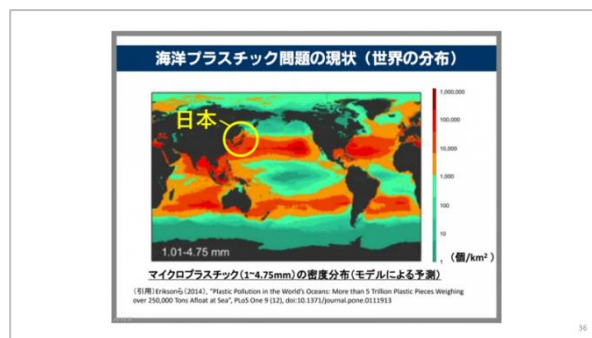


このような状況は日本にも起こっています。対馬の海岸の状況です。ゴミが対馬にも押し寄せています。なぜならば、対馬には海流が南から来ています。対馬は韓国と日本の間にあるので、櫛の歯のようにゴミが引っ掛かってしまいます。国側も 2 億 7 千万円費用負担してゴミを回収していますが、3 分の1ぐらいしか回収できず、2 万㎥分が日本海へと流れていっています。

日本海は冬の時期に北西の季節風が吹いてくるので、海岸にプラスチックが押し寄せてきます。それは紫外線や物理的な力でマイクロプラスチックになっています。九州大学の磯辺教授が、日本近海ではマイクロプラスチックがどんどん増えていくと警鐘を鳴らしています。これは北太平洋を過ぎて、ハワイ沖まで流れついて 100 キロ、200 キロぐらいのプラスチックやごみベルトが渦になって漂っています。これは現実です。



陸上から海洋へ年間 850 万トンぐらいのプラスチックゴミが流れています。中国などからが多いです。しかしこれを言っていくと、科学的なデータを出せという話になり、改良する前に手が止まってしまうという国際的な現実があります。われわれはこのことも考えないといけません。



海洋プラスチック汚染はどんどん進んでいて、2050年にはプラスチックごみの総重量が、海の生物の総重量を超えるといわれています。プラスチックは物理的に小さくなくても、最終的には分解しません。生物界はそういう酵素を持っていないので、分解しない。こういうものが溜まってきて、大変なことになるという話です。

2019年に、大阪でG20が開催されました。この時は安倍首相が努力して、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を出しました。これが一つのベースになっていますが、実際はどうかというと、ほとんど何もしていません。プラスチックの資源循環法が4月に成立しましたが、現実的にはあまり動いていません。

これは何とかしないとイケないということで、対馬と話をして、関西経済同友会、サラヤ、関西再資源ネットワーク、それからゼリ・ジャパンが連携協定を結びました。対馬で何をやるか。

### 対馬プロジェクト概要

1. 海洋プラスチックの回収強化と、リサイクル、サーマルリサイクル・エネルギーへの活用、還元剤への活用。漂着木材も同様に活用する。
2. 発電された電気の活用を活用するため、電気自動車の導入や充電ステーションの拡充をはかる。排熱や電気を農業や養殖に活用する。
3. 食品や農業由来の廃棄バイオマスを活用して、メタン発酵を行い、そのメタンを燃料や発電に活用する。精製されたメタンはLNGと同じ。将来は海藻による、ブルーカーボンの回収とクレジットの販売を行う。
4. 島でできたエネルギーを新産業の育成に活用する。ラビッドフリーザーを使った食品製造など。
5. サーキュラーエコノミーを実現する。
6. このモデルを太平洋島嶼国やその他の島々に応用する。

40

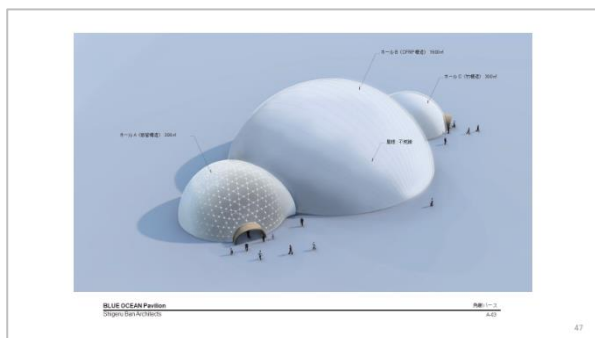
プラスチックごみ、漂流ごみを全部回収し、電気をつくってサーキュラーエコノミーを対馬で実現するという活動です。例えばEV車を導入し、島でつくったエネルギーを使います。対馬にはバイオマス資源も多く、メタンを発酵させてメタンガスをエネルギー化します。また、いま潮焼けが多く魚が獲れなくなっていますので、海藻を植えてその一部を回収しバイオマス資源にします。そのプロジェクトを、これから万博に向けて道筋をつけていきます。

### 2025年大阪・関西万博とブルーオーシャンパビリオン

そこで、ゼリ・ジャパンがブルーオーシャンパビリオンを万博で出します。原研哉さんと坂茂さんがプロデューサーです。



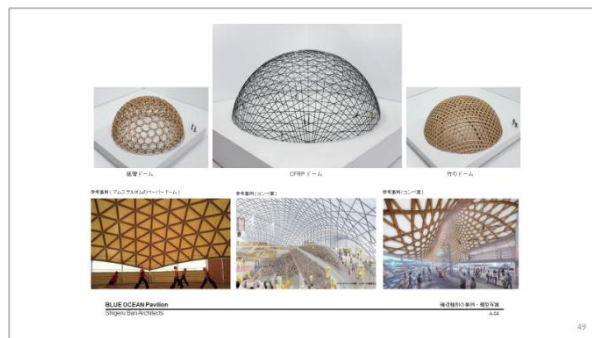
45



47

何をやるかという三つあります。お団子が三つあるような形の一番手前は、紙でできたパビリオンで、水の不思議さについて展示します。真ん中は東さんがカーボンナノチューブを

世界で初めて建築に使うというので、これをやります。出口は竹でできたパビリオンです。持続可能な素材をできるだけ使ってやろうという話でこういうパビリオンを作ります。



49

真ん中のドームが一番のメインで、球体オペラというテーマで、皆さんに感動だけではなく、行動変容につながるようなビジョンをつくと原研哉さんが頑張っておられます。右側は、つながるパビリオンとして閉じずに、地域の美味しいものが食べられたり、各地とビジュアルで結んで、大阪だけではなく日本全国や世界と繋がるような企画をやります。

### ブルーオーシャンイニシアチブと国連海洋会議



53

そこでブルーオーシャンイニシアチブを作ります。大企業はこれに参加いただきたいと考えています。一緒に万博をやろうという人は参加してくださいと呼びかけます。イニシアチブというグループを作って、その枠ができると中小企業や地方自治体も入ってもらって、全体で活動していこうと考えています。



この活動において、国連海洋会議への参加が大きなテーマの一つになります。海の活用に向けて枠組みを作る会議で、意外に日本は少し遅れており、世界は海の活用に邁進しています。船や海の資源など様々な議論をここでします。国連事務総長のグテーレスさんも参加され、スピーチされています。ブルーオーシャンパビリオンとブルーオーシャンイニシアチブと日経のブルーオーシャンフォーラムがタッグを組んで、日本の海産物をサステナブルに支えて発展させようという動きが起きています。

## イノベーションとビジネス

われわれビジネスの世界にいる人間として、こういった海のビジネスにおいても、イノベーションを起こしていくことが大事と感じています。先ほど、アダム・スミス、マルクス、ケインズの話をしました。まったく違う視点で経済はイノベーションによって動いているというのが、シュンペーター理論です。それは何かというと、新結合だということです。非常に有用なところですので、以下のとおり示します。

### シュンペーターの理論

1. イノベーションの鍵は新結合であり、異なる要素の組み合わせによって、これまでとは違った価値を産み出す。
2. イノベーションを興すのは企業家で、創造的破壊によりイノベーションを起こす。企業家は、従来の価値観ややり方にこだわらず創造的破壊ができる人。そして、社会の常識にこだわらず、常識と言う非常識に反抗できる人が企業家である。
3. 資源を陳腐化した古い物から、あたらし生産性の高いものに移すのが企業家精神であり、現代経済の本質である。
4. 内発的なイノベーションが、経済と社会の変化をもたらす。
5. ミクロがマクロの動きをもたらす、それが集積してメガトレンドをもたらす。
6. 新結合はある時、一斉に出現する。
7. 資本主義の循環や崩壊は、内部から起こる。好況期には、「安定」や「均衡」を求める動きが強くなり、創造的破壊が弱まる、イノベーションが弱くなる。そのことが景気の波や循環をもたらす。最後には、①官僚化 ②実利主義の暴走 ③反大企業勢力の台頭 ④資本家の離反が起こり、資本主義は終焉を迎える

【シュンペーター 名和高司 日経BP2022年6月20日刊より】

この頃もやはりベンチャーが取り沙汰されていますが、ベンチャーもスケラビリティ(拡張性)が要ります。社会を変革するには、技術がスケラビリティをもって対応することが必要で、それには資本が要ります。いままでいろんな形の資本やファン

ドが入り、アセットマネジメントの新しい手法が次から次へと生まれています。経済的不均衡が経済的発展の原動力となり、内部から革命が起きて古い構造が絶えず破壊され、新しい構造が絶えず生み出される。この「創造的破壊」の過程こそ資本主義の本質を示すとシュンペーターは言っています。イノベーションは、絶えず模倣者により食いつぶされ長続きはしないものであり、その実践には、時代の変化と流れを読み、資産の入れ替えを仕掛ける、知恵と勇気と行動が必要だということです。

### 社会を変革した新結合

1. 第一次産業革命 蒸気機関との結合 → 紡績などの機械化
2. 第二次産業革命 重化学工業との結合 → 鉄鋼・鉄道・電信・建設
3. 第三次産業革命 石油や電力との結合 → 電気・自動車・石油化学
4. 第四次産業革命 IOTやAIとの結合 → エレクトロニクス、原子力
5. 第五次産業革命 バイオ技術ICT技術の結合 → 遺伝子操作、ロボティクス

いま社会は、このような変革をしなければなりません。前の時代では、IT関連で多くの変革者が出ました。スティーブ・ジョブズもその一人で、学生には「貪欲になれ、ばかである」といつも言っていたようです。

### Stay Angry, Stay in business !

若者よ、怒れ、しかし怒りをビジネスへ！ビジネスを通じて世の中を変えよう！



Occupy Wall Street ! Sep.17<sup>th</sup> 2011

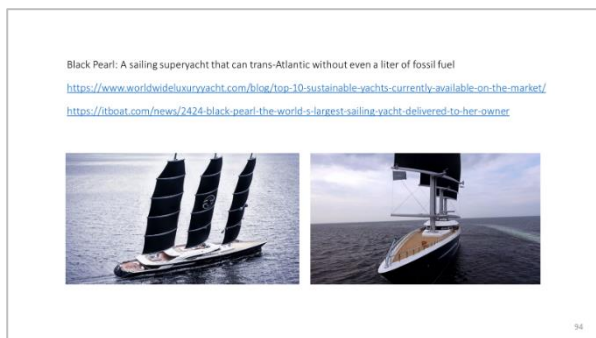
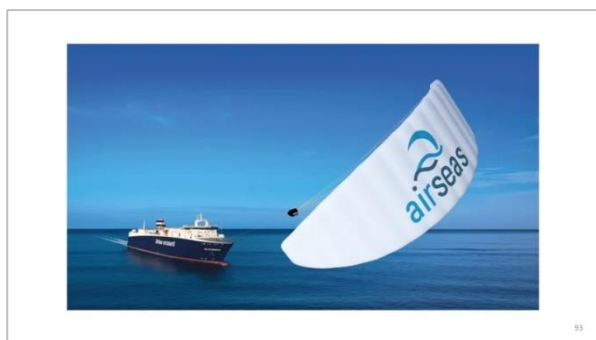
われわれは、「Stay Angry, Stay in business」、社会に対して怒りを覚えて、それをビジネスに変えていくエネルギーに変えようということで取り組んでいます。



アフリカで、COTS COTS という会社が「YAMASEN(やま仙)」というレストランを経営しています。当社も少し出資しています。アフリカの人に魚を使った日本食を食べてもらおうというイノベーションで、私が 2010 年頃に行った時は、チキンとミートとフィッシュしかボキャブラリーがなかったのです。いまはこのレストランで、「鰹の活きのいいたたきをくれ」、「鮪をくれ」といった言葉が飛び交っています。

これを実現するには、モンバサというケニアの港があります。ここでラピッドフリーザー※を用いて急速冷凍して、カンパラのこの YAMASEN(やま仙)まで運ぶというわけです。これは新しいマイナーなイノベーションですが、日本の冷凍技術の価値と現地のニーズを新結合した試みです。

※従来機比20倍の急速冷凍機で解凍後も解凍前の鮮度を保つ



先ほどポリマ号の話をしました、スカイセールという船もあります。このような帆で船を動かさないか、大きな船にも使えないかということです。帆と一緒にの原理で動力が生まれるので、発電できないかというような R&D(研究開発)をやっています。ドイツ人が研究しているので、アジアに連れてこようと努力しています。

Sea weed projects ; Recover 120kg CO2 from 1000kg of sea weed.

Seaweed is the fastest growing biomass on our planet. Using photosynthesis as the most efficient way to capture CO2, each ton of wet seaweed has absorbed 120 kg CO2, 2 kg of nitrogen and 0.2 kg of phosphorus.

ブルーカーボンと言いまして、海の中の二酸化炭素も増えています。これからのイノベーションになりますが、1トンの海藻で120 キロぐらいの二酸化炭素を吸収できます。これをエネルギー化できないかというので、試みています。

Sontoku Ninomiya (1787-1856)  
(二宮尊徳)

- 経済無き道徳は寝言であり(The virtue without economy is nonsense)
- 道徳なき経済は頹廢である。(The economy without virtue is the corruption)

二宮尊徳 文政通徳  
 徳川幕府の幕臣をどり  
 親の命を助け 善を建てる  
 足利伊豆守 孝行のす  
 手本は二宮家次郎  
 善を建てる 止むを得ず  
 徳を深めて 善を建てる  
 手本は二宮家次郎  
 徳を深めて 善を建てる  
 手本は二宮家次郎  
 徳を深めて 善を建てる  
 手本は二宮家次郎

最後に、お金は見えざる手に導かれているようではありますが、やはりこれからは「経済なき道徳は寝言であり、道徳なき経済は退廢である」という時代です。この意味は、道徳をもって経済を運用するけれども、いいことばかり言っても実現されなければ意味を持たないということです。特に経済人においては尚更です。これはわれわれの先輩の二宮尊徳の教えです。こういう考え方をもって、これから経済に励んで、地球市民の時代にサステナブルなエコノミーを実現することへ頑張っておりますし、皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

(終了)